



# Book Mark

2018  
1

## 飢餓感

現代政策学部 准教授 大園陽子

私が幼稚園の頃、両親は月に1冊だけ、欲しい本を買ってくれた。当時、母親が絵本の読み聞かせをしてくれていたおかげで、読書が大好きな子供になっていた。買ってもらった1冊の本は1日で読んでしまい、次の月が来るのが待ち遠しくてたまらなかった。ちょうどその頃、読みたい本をいくらでも買ってくれる友達の話を聞いて、うらやましくて仕方がなかった。なぜ、欲しいだけ本を買ってくれる家に生まれなかったのだろうと、自分の境遇を悲しんだような気もする。1冊でも買ってもらえることをありがたく思わなければならなかったのかもしれないが、当時の私は未熟だった。

小学校に入るとすぐの頃、図書館という本がいくらでも読み放題だという夢のような存在を知り、毎月、もう翌月を待たなくても本が読めると嬉しかった。少し歩いて行かなければならなかったが、せつせと図書館に通った。いつも軽い興奮状態になり、「この棚の本は全部読む」と決め、読破していった。このように、幼い頃、自分の欲求通りに本が読めないという結果、文字を読まずにはいられない、すなわち、活字に対する飢餓感が身についたように思う。活字に対する飢餓感によって、電車のつり広告をくまなく読むことはもちろん、落ちていた新聞を拾わないでそのまま立ち止まって読んだりするような大人になってしまった。今はもちろんそんなことはないが(笑)。

図書館に行って、多くの本に囲まれた時は、活字をたくさん読んで行う仕事に就ければいいと漠然と思っていた。今思えば不思議だが、まるで本が導いてくれたように、働きながら大学院に通い、教員になった。教員になってからも、本から先達の知恵を拝借し、試行錯誤しながら、授業を改良していった。今でも出来るだけ、最新の本を読み、情報を取り入れ、授業を進化させていこうと考えている。私が本から受けた恩恵を次世代の学生に少しでも伝えていけたらと思う。

もし、幼い時に望んだ、読みたいだけ本を買ってもらえる家に生まれていたら、活字に対する飢餓感は芽生えなかったかもしれない。今回、ご紹介する下記の本には、「第2章 なぜささいな偶然がきわめて重要なのか」で「不運もめぐりめぐって成功に」という節がある。成功というには、まだまだ道半ばの私であるが、今では、本を1冊しか買ってくれなかった環境がきっかけとなり、活字に対する飢餓感が芽生えたことにいくらか感謝しても足りない。これからも、この飢餓感と未永く付き合っていきたいと思っている。

### 参考文献

『成功する人は偶然を味方にする 運と成功の経済学』ロバート・H・フランク著；月沢李歌子訳、日本経済新聞出版社、2017.3 (331.04//F44)

参考文献は図書館で所蔵しています

## 知って得する図書館活術

●学習支援における図書館活用事例を紹介



様々な場面で  
図書館が  
活用されています

## 学生アドバイザー通信

●学生アドバイザー1月企画



おみくじ & 絵馬  
ライブラリーラウンジ

## Information

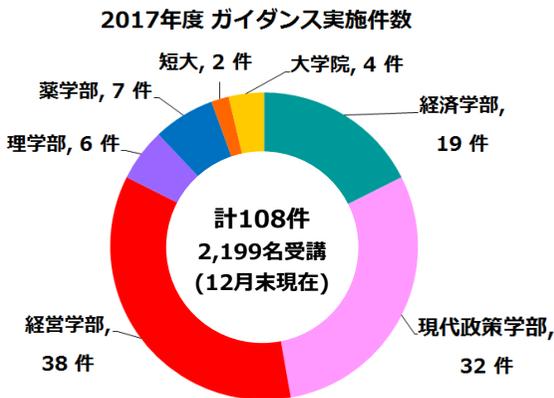
●「城西大学読書感想文コンテスト2017」結果発表



## 図書館員おすすめの図書1冊

●『銃・病原菌・鉄：一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎』草思社

図書館ガイドンス



図書館の便利な利用方法、効果的な資料の探し方を、授業の1コマとして図書館司書が教えています。

図書館では通年にわたって教員からの依頼を受け、ガイドンスを実施しています。

1年生から大学院生まで、レベルに合わせた内容(コース)で行っています。

コース(基本編、応用編)は教員の要望によりますが、授業テーマに合わせて、1年生から4年生まで各学年で受講しているゼミもあります。

- 図書館の基本的な利用方法
- 蔵書検索OPACでの資料の探し方
- 雑誌記事や新聞記事の探し方
- 学術論文の探し方
- 著作権(引用)について
- 専門データベースについて etc.

受講内容を自身で反復して、図書館を使いこなしましょう。

ガイドンスは、教員がその時期の皆さんに必要なからこそ、図書館へ依頼しています。覚えたことはすぐに実践して、確実に身につけましょう。分からないことがあれば、気軽に図書館カウンターにお尋ねください！

著作権教育

年に2回(前期・後期) 図書館主催の著作権講演会を開催し、レポート・論文作成に必要な知識を学んでいただきます。



12月8日、後期著作権講演会「知っておこう著作権2017 Part.2」を開催しました。講師の大亀哲郎氏(日本ユニ著作権センター著作権実務相談員)より、著作権とは何かという基礎から、論文作成時の引用ルールなどについて解説していただきました。<参加者93名>

引用ルール6原則

1. 公表された著作物 …未公表のものは引用不可。
2. 使用目的に必然性があるか? …自説の証明や補足などのため。
3. 主と従の関係 …あくまで自分の文章等が主。
4. 明瞭に区分されているか? …引用文は主文と区別させる。
5. 変更してはいけない …原文を勝手に修正しない。
6. 出所明示 …引用文献情報を明記する。

※太字部分：12/8左記講演会スライド資料(大亀氏作成)より引用

キャリア教育

図書館主催講演会

「大手出版社の仕事」

キャリアデザインの授業と連携して開催しました。



講演者 長久保 亮 氏 (株式会社 文藝春秋)  
聞き手 佐藤 健太 氏 (フリー編集者)

『週刊文春』の取材・編集、『文春文庫』の書籍編集、書店営業、『Number Web』の編集といった担当を歴任



就活をひかえた学生に向けて

ご自身が学生だった頃を振り返られて「もっと本を読んでおけば良かった」とのこと。参加した学生に対しても、色々なことに目を向け日頃から本や雑誌、ニュースなどを見ておくことが力になるとアドバイスしていただきました。

参加者アンケートより

- 「どの業界にも通じることが聴けて、とても役に立ちました」
- 「大きな会社でも、小さな努力の積み重ねがあって維持されているのだと感じました」
- 「どんな職業に就くにしても、本を読んでおくことが重要だと思った」
- 「今まで何となく手にしていた本を、よく見てみようと思った」

長久保氏は文春文庫の編集も担当されていました。文庫本の裏表紙にある150字程度の解説文は編集者が執筆するそうで、

業務範囲の広さが伺えました。そうした視点

で文庫本を手にしたら、これまでと少し違って見えるかもしれないですね。

なお会場では学生選書も開催。講演会参加者に、用意した文藝春秋の図書を見てもらい、合計29冊が選ばれました。



講演会開催報告

現代政策学部「キャリアデザイン基礎Ⅱ」(大園陽子先生、小野義典先生、松山宏樹先生)と連携して開催

12月1日、「大手出版社の仕事」と題した講演会をインタビュー形式にて開催しました。文藝春秋の現役社員の方から、出版業界の現場について、直接聴ける貴重な機会となりました。<参加者296名>

コミュニケーション能力の必要性

様々な現場を担当されてきた中で、書店営業時代には、日々多忙な書店員に話を聞いてもらうだけでも大変だったとのこと。そんな中でも「書店員と仲良くなることで自社を好きになってもらう」ことが大事であり、コミュニケーション能力の必要性を、とても感じたそうです。



● 1月16日 第14回ライブラリーラウンジ「アスリート飯」を開催  
● 1月はお正月企画「万福！本福！図書館詣」も実施

新年あけましておめでとうございます！今年度も残りわずかですが、アドバイザー一同、皆さんの学習をサポートするために全力で取り組んでいきます。引き続き、よろしくお願いします。さて、図書館では新年からイベントが盛りだくさんです！

まずはお正月企画「万福！本福！図書館詣」を開催します。お正月にちなんでアドバイザー自作の「おみくじ」と「絵馬」を用意しましたので、ぜひ図書館へ足を運んでください。

そして1月16日(火)4限には第14回ライブラリーラウンジ「アスリート飯」を開催します。今回は薬学部医療栄養学科の伊東順太先生をお招きして、スポーツや普段の食生活にちなんだ「食事」に役立つ話を聴かせていただきます。生活の基本となる「食事」。これを機に一度見つめなおしてみるのはいかがでしょうか？みなさんの参加をお待ちしています！



<記：学生アドバイザー 理学部数学科4年 岩崎 健>



吉報

12月23日に開催された日高市立図書館主催「ビブリオバトル2017 冬の陣」にて、アドバイザーの栗原稜太さん(経済学部3年)の紹介した『表参道のセブ犬とカバーニヤ要塞の野良犬』が見事チャンプ本に選ばれました！



研究室訪問 Vol.10

図書館では利用者の皆さんに役立つ使いやすい図書館作りを目指して、先生方の研究室を訪問し、ご要望等をお伺いしています。

経営学部 教授 蛭川幹夫 先生 2017年12月19日訪問

今回は、先生に加え蛭川簿記塾の学生にも集まっていたいただき、にぎやかな研究室訪問となりました。いつもの訪問とは異なり、学生の皆さんに図書館の活用方法を紹介する時間ができました。

学生の興味が集まったのは就職活動に使えるツールで、日本経済新聞社の新聞記事を検索できる「日経テレコン」や、『会社四季報』『就職四季報』などを閲覧できる「東洋経済デジタルコンテンツライブラリー」を紹介しました。探している本が図書館にないときはどうするのかといった質問もあり、検索方法や学外文献申込みについて教えるとともに“分からないことや困ったことがあったら、すぐに図書館員へ相談”することをアドバイスしました。また、学生同士で教えあったり、話し合いのできるスペースがもっとほしいという声を聞くこともできました。

先生からも図書館の有用性を改めて感じたと言っていただき、訪問後、簿記塾内に図書館係ができることになったそうです。(学生が翌日図書館に顔を見せ、早速資料を借りてくれました) 蛭川先生および学生の皆さん、お忙しい中ありがとうございました。

今後も多く先生方のもとを訪問させていただく予定です。

第9回地域相互協力図書館合同主催公開講座 <開催報告>

「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」  
講師：大嶋 繁 先生(城西大学薬学部准教授)

12月15日、地域相互協力図書館合同主催公開講座を、鶴ヶ島市立中央図書館にて開催しました。講師の大嶋先生より、地域包括ケアシステムと、かかりつけ薬剤師について、ご自身の実践されている在宅ケアへの熱い思いをお話いただき、近隣地域の方々から熱心に耳を傾けていました。<参加者52名>



主催(地域相互協力図書館) ※当館は近隣公共図書館と提携し相互協力を図っています。  
鶴ヶ島市立図書館、坂戸市立図書館、日高市立図書館、飯能市立図書館  
毛呂山町立図書館、越生町立図書館、城西大学水田記念図書館

# 図書館員おすすめの図書1冊

『銃・病原菌・鉄：一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎』 ジャレット・ダイヤモンド著；倉骨彰訳  
草思社. 2000.10 (204//D71//1-2)

## 今月の紹介者：利用者サービス担当 中村

ヒトが各大陸で全く異なる発展をとげたのは何故か？「東西」と「南北」をキーワードに、生物地理学の視点からこの回答に迫ります。農耕も家畜も、この呪縛から逃れることはできません。全世界の人類史を駆ける展開に、私も刊行当時に一気に読みふけたものです。

さて本題はここから。本書の原書(2005)には、日本史に関する章が追加されていますが、日本では教科書でも周知の朝鮮半島からの影響を「人気のない説」という前提で理論を展開するなど、首を傾げる点が多々見られる内容でした。このためか日本で文庫化(2012)された際にも、同章は追加されないまま出版されています。

ここには著者と読者、双方の立場において、専門以外の分野に踏み出す際は注意が必要という情報リテラシーの問題が見られます。いずれの立場でも、情報の妥当性を問う姿勢は重要です。あなたのレポート、そしてその参考文献、大丈夫ですか？



# Information

## 試験期間の利用案内

下記の期間は学年末試験に合わせ、一部対応を変更します。

### 試験2週間前 1/18~3/8

◆シラバス図書の貸出停止  
1/17までに借りた資料は通常どおり2週間借りられます。

### 1/18~2/9

◆8時30分に開館 (月~金)  
試験に向けた皆さんの学習をサポートするため図書館は通常より30分早く開館します。どうぞご利用ください。



### 試験1週間前 1/25~2/10

◆DVD・LDの視聴停止  
学習教材の利用は可能です。

### 試験期間中 2/1~2/10

◆グループ学習室の開放  
期間中は、グループ学習室の予約はできません。

## 春休みの貸出期間

### 学部1~3年生・短大1年生

冊数	対象資料	実施期間	返却期限日
5冊	図書※	1/22~3/25	4/9

※シラバス図書は対象外です。

- ◆薬学科4、5年生・大学院生(卒業年次生を除く)・研究生・研究員・教職員の方は、通常の90日間の貸出です。
- ◆長期貸出で借りた図書は、延長できません。

### 卒業年次生・別科生・科目等履修生

貸出冊数と期間は、対象資料・身分によって異なります。

- ◆最終返却期限日は**2/10**です。卒業する前に、図書館の資料をすべて返却したかどうか、今一度確認してください。

## 「城西大学読書感想文コンテスト2017」表彰式

12月9日「城西大学読書感想文コンテスト2017」表彰式を水田三喜男記念館にて行いました。今年度は、応募資格を埼玉県内の中学校・高等学校に在籍する生徒とし、「こんな人になりたい」「広がる世界」「地域のことを考えてみよう」「自由課題」の4つのテーマで作品を募りました。中学生226名、高校生87名、応募総数313件の中から、4作品が選ばれ、各賞を受賞しました。

表彰式では、各受賞者へ関 俊暢 図書館長よりお祝いの言葉が贈られた後、賞状と副賞が手渡されました。また、今回ご出席いただいたコンテスト審査員の先生からも、審査の講評を述べていただきました。



### ◆グランプリ

「人の痛みのわかる人に」 中村佳穂里さん (こんな人になりたい)

書名『想像ラジオ』いとうせいこう著

### ◆準グランプリ

「夢を叶えた女性達に学んだこと」 柏木美紅さん (こんな人になりたい)

書名『医者になりたい：夢をかなえた四人の女性』島田和子著

### ◆優秀賞

「犬が来る病院を読んで」 河崎友佳さん (こんな人になりたい)

書名『犬が来る病院』大塚敦子著

「普通の人間」 山崎万梨子さん (自由課題)

書名『自閉症の僕が跳びはねる理由』東田直樹著



## 12月の図書館報

- 12/1 図書館主催講演会「大手出版社の仕事」を開催し、296名が参加しました。
- 12/1-16 学生選書2017Part2を実施し、49名が参加、計66冊が選書されました。選ばれた本は1月上旬より貸出できるようになります。(貸出開始時には、ミニ展示にて選書資料を紹介いたします)。
- 12/1-15 図書館サービス向上のためのアンケートを実施しました。
- 12/7 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)第29回研修会に参加しました。
- 12/8 図書館主催講演会「知っておこう著作権2017Part2」を開催し、93名が参加しました。
- 12/9 城西大学読書感想文コンテスト2017の表彰式を行いました。
- 12/14 私立大学図書館協会東地区部会研究分科会報告大会にて、成果報告を行いました。
- 12/15 第9回地域相互協力図書館合同主催公開講座「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」を鶴ヶ島市立中央図書館にて開催し、52名が参加しました。
- 12/17 橘川市民ホール・さいたま文学館にて行われた埼玉県図書館協会主催「図書館と県民のつどい埼玉2017」に出席しました。
- ピリオパトル(城西大学の学生が出場した大会)  
12/23 日高市立図書館主催「ピリオパトル2017 冬の陣」1名出場
- 図書館見学  
12/18 高校生16名が図書館を見学しました。

# 1 月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2 休館日	3 休館日	4 9:00~21:00	5 9:00~21:00	6 9:00~19:00
7 9:00~17:00	8 休館日	9 9:00~21:00	10 9:00~21:00	11 9:00~21:00	12 9:00~21:00	13 休館日
14 休館日	15 9:00~21:00	16 9:00~21:00	17 9:00~21:00	18 8:30~21:00	19 8:30~21:00	20 9:00~19:00
21 9:00~17:00	22 8:30~21:00	23 8:30~21:00	24 8:30~21:00	25 8:30~21:00	26 8:30~21:00	27 9:00~19:00
28 9:00~17:00	29 8:30~21:00	30 8:30~21:00	31 8:30~21:00			

□ 平日 9:00~21:00    ■ 土曜 9:00~19:00  
■ 日曜 9:00~17:00  
■ 1/18~2/9の平日 8:30~21:00  
■ 休館(1/13,14はセンター試験)

年度開館予定QRコード →

発行：城西大学水田記念図書館  
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1  
TEL : 049-271-7736 FAX : 049-286-8126  
mail : library1@josai.ac.jp  
URL : http://libopac.josai.ac.jp/  
TwitterID @lib\_josai  
図書館ツイッターQRコード →